

令和5年度 仙台市農政推進協議会議事の概要

日時：令和5年7月4日（火）
午後2時00分～午後2時40分
場所：仙台市役所本庁舎 3階 第一応接室

1. 出席者

委員 14名（欠席2名）
事務局 11名
傍聴 1人

2. 概要

1. 開会

2. あいさつ

〈柳津会長代理（仙台市経済局長）〉

3. 協議

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の改正等について

資料1-1～資料1-3

〈事務局説明〉

事務局（農業振興課担い手育成係長）

- ・資料1-1～資料1-3により説明

〈質疑応答〉

⇒各委員から意見等なし

柳津会長代理（仙台市経済局長）

- ・意見等なければ協議事項については決定としてよろしいか。
⇒全員了承
- ・協議事項について、事務局で対応をお願いします。

4. 報告

(1) 農業経営改善計画等の審査について 資料2

事務局（農業振興課長担い手育成係長）

- ・資料2により説明

〈質疑応答〉

藤澤委員（仙台農業協同組合代表理事組合長）

- ・青年等就農計画の審査について、このメンバーに農協女性部は入っているが、農

協青年部が入っていない。普及させるためにも農協青年部のメンバーが参画するのも1つの手段だと思うので検討をお願いしたい。

事務局（農林部長）

- ・本協議会の委員として農協青年部の参画という観点での質問かと思うが、本協議会は昭和55年に設置後、農政の基本方針や農業振興の方向性を皆様からご意見を頂戴して決定している。設置後かなりの年数も経過していること及び市全体としても附属機関の男女共同参画を推進していくという観点で、本協議会においても委員の構成や内容について見直しが必要と考えている。藤澤委員よりお話しをいただいた点も含めて検討させていただき、改めて各委員の皆様へ説明し、より良いものにしていきたいと考えている。

品川委員（宮城農業共済組合組合長）

- ・農業経営改善計画にてついて変更認定7件のうち内訳を教えてください。

事務局（農業振興課担い手育成係長）

- ・融資を受けて機械を購入する場合や経営継承等で変更となったケースがある。
- ・昨年の第1回地域農政専門部会では機械等取得の変更、第2回は経営転換、第3回は施設・機械取得計画の変更、第4回は経営継承・共同申請・機械取得計画の変更があった。

藤澤委員（仙台農業協同組合代表理事組合長）

- ・原料高騰による肥料値上げ、電気料の値上げが続くと経営が圧迫されている。国の方で価格転嫁していくという方向性を打ち出している。もう一方でそういった中でどうやって肥料を確保するかという課題がある。買えているうちはいいが、またいずれ原料が入らなくなる可能性もある。
- ・輸入に頼るだけでなく汚泥や食料残渣から肥料を作るなど新たな研究が始まっているが、研究開発にも資金がかかる。ぜひ仙台市として、新たな機関を立ち上げて肥料を作る取組を取り上げてほしい。農協としていろいろな形で参加・応援していきたい。

事務局（農林部長）

- ・肥料については、一定程度価格は落ち着いてきているが、原料確保の動きとして、他都市もそのような実績はある。どうしても経費がかかるということで、化学肥料に比べるとコスト高になっている。関係部局との調整もしながら、検討していく。
- ・一方で昨年の秋肥、今年の春肥については、国の支援に合わせ宮城県・本市で高騰分の支援をさせていただいているが、その中でも化学肥料をできるだけ減らしながら有機肥料や緑肥を使用していく取り組みを合わせて行いながら進めている状況である。

- ・両方の取り組みをしながら生産が維持発展できるような取り組みを引き続き、東北大学や宮城県の研究機関等と連携を図りながら支援していけるよう努める。

⇒以上質疑応答なし

5. その他

事務局（農林部長）

- ・本協議会の下部組織として位置付けている地域農政専門部会では、農業経営改善計画の認定について審査を行っているが、審査手続きについて制度が変わり、第三者による審査を経ずとも認定手続きが進められるようになっている。そういった状況を鑑み、協議会及び専門部会の変更をしてみたい。改めて各委員の皆様にはご説明させていただく。

6. 閉会